

ホンダ、広島が史上初の6連覇達成

～第28回日本ハンドボールリーグ『ANA CUP』プレーオフ～



MVPに輝いた④ホンダ・四方⑤広島メイプルレッズ・大前

ホンダと広島メイプルレッズが史上初の6連覇を達成した。2003年度シーズンを締めくくるスーパーファイナル、第28回日本ハンドボールリーグ『ANA CUP』プレーオフは、3月20、21日駒沢体育館(東京)で行われ、レギュラーシーズンを1位で通過した男子・ホンダと女子・広島メイプルレッズが準決勝勝者を迎え撃った。決勝に勝ち上がった大同特殊鋼とオムロンは、いずれもレギュラーシーズン3位ながら、同2位の湧永製薬とシャトレーゼをそれぞれ1点差で退けて進出。前半は互いの持ち味を発揮して競り合いが続いたが、後半に入るとホンダと広島メイプルレッズがディフェンディングチャンピオンの底力を見せつけ、巧みに混戦を抜け出すとそのまま勢いをキープして勝利のホイッスルを聞いた。

ホンダはレギュラーシーズンの終盤、大同特殊鋼らに3連

敗して大きく調子を崩したが、このプレーオフ決勝は最高殊勲選手賞を獲得したGK四方を中心とする鉄壁のディフェンスからスピーディな速攻につなげる本来のダイナミックな攻守を確立させ、後半動きが鈍った大同特殊鋼を攻め立ててタイトル防衛(6年連続8回目)に成功した。

女子も広島メイプルレッズの盤石の強さが光った。林五卿と呉成玉のゴールデンペアを軸に有利に試合を展開。オムロンも果敢なディフェンスと左腕ヒッター 洪延昊のロングなどで必死に食い下がったが、後半10分過ぎから相手のシュートミスや守りの甘さについて確実に得点に結びつけた広島メイプルレッズが20分30-21と大量リードを奪い、6年連続7回目の優勝を確定づけた。速攻で10得点をマークした大前が最高殊勲選手賞に輝いた。



◎大同特殊鋼・山本◎オムロン・洪

明暗分けた後半の集中打 決勝

男子決勝戦。序盤は広政のカットイン、クリチェンコの7mTでホンダが先行すると、大同特殊鋼も山本のサイド、朴性立の速攻で追いつくという息もつかせぬ展開。このあと大同・朴が右足太も肉離れでベンチに退き、クリチェンコらで加点したホンダが16分8-4と優位に立ったが、大同特殊鋼も負けじと峯村のカットイン、朴に代わってコートに立った新鋭・畠中のロングなどで4点連取、22分8-8と盛り返して大同サポーターを喜ばせた。

このあとは両者譲らぬ攻防でスタンドを沸かせ、終了間際にホンダ・斎藤のカットインが決まり、11-10でホンダリードで終了。

後半に入ると、大同・市原が速攻から豪快に打ち込んで同点、6分に過ぎはセンター峯村がホンダディフェンスの間隙を縫うシュートで13-12と逆転に成功した。しかし、ここからホンダが本領発揮。8分谷口のサイドを皮切りに、大同・金性憲が退場したチャンスに加藤、谷口が連続ゲット、さらに茅場のシュートも決まって13分17-14と主導権を奪い返した。

これで勢いづいたホンダはその後も快調に飛ばし、17分過ぎから谷口、阿部の連続速攻などで6連取して一気に試合を決めた。最後は大同特殊鋼必死のマンツーマンディフェンスもとどかず、ホンダが25-19と勝利し、連続優勝記録となる6年連続8回目の栄冠を射止めた。

レギュラーシーズン1位の広島メイプルレッズと、前日劇的な勝利を飾ったオムロンの女子決勝戦は、オムロン・水野の速攻でスタート。しかし、広島メイプルレッズは、エース呉の7mTや大前の速攻ですかさず逆転、その後も水野の速攻、洪のロングシュートなどで反撃するオムロンに対し、林五脚を中心とした早いパス回しで先手を取り続け、18-14と4点リードで前半を折り返した。

「ストップ・ザ・広島」に燃えたオムロンにとっては、西本のポストで前半20分11-11と追いつき、その後も懸命に粘って同点、あるいは逆転へとつながる絶好のチャンスを迎えながら、2本の7mT失敗もあって自らに傾きかけた流れをフィニッシュし、その直後に広島メイプルレッズの連打を浴びたのが悔やまれた。

後半も広島メイプルレッズの試合運びの巧さが際立った。安心院の7mT、佐久川のサイドシュートなどで11分20-22と必死に食い下がるオムロンに対し、ここから広島メイプルレッズが一気の6連取。マンツーマンディフェンスを振り切った呉の巧打に端を発し、ロングパスを受けた大前の連続速攻などをからめた鮮やかな集中打だった。20分には林のカットインが決まって30-21と広島9点リード。オムロンも必死に食い下がるも、広島メイプルレッズが力の差を見せつけて6年連続7回目の優勝に輝いた。

湧永、シャトレゼ1点に泣く 準決勝

準決勝2試合は、レギュラーシーズン3位の男子・大同特殊鋼と女子・オムロンが、ともに1点差の大接戦を制して決勝進出を決めた。

男子は大同特殊鋼が終始先手を取り続けていたものの、前

半29分に湧永製薬が11-11の同点に追いつくと、残り10秒でブラマニスがかットインを決めて逆に1点リードで前半を折り返した。

後半に入っても一進一退の攻防が続き、両者一步も譲らない展開で時間が経過。動きが出たのは18分、大同・朴性立の失格で湧永製薬に流れが傾きかけた23分過ぎ、今度は湧永・ブラマニス失格、両エースのリタイアで最後まで予断を許さぬ状況となった。試合を決めたのは21-21の同点での残り15秒、松林の劇的なポストシュートが決勝点となり、大同特殊鋼がホンダへの挑戦権を勝ち取った。

シャトレゼ・早船の7mTでスタートした女子準決勝は、オムロンが劉晋淑、安心院のサイドなどで前半15分6-3と主導権を握った。そのままオムロンが優勢に試合を進めたものの、シャトレゼが21分のタイムアウト後からペースをつかみ、8-8の同点に追いついて後半を迎えた。

後半に入ってシーソーゲームの展開ががらりと一転、5分過ぎからシャトレゼに退場が相次いだところを劉のシュートなどで確実に得点を加えたオムロンが13分17-11と混戦を抜け出した。しかし、今シーズン限りに活動休止が決まっているシャトレゼも執念の粘りで終盤猛反撃、29分15秒、早船がこの試合10得点目となるシュートを決め、20-20の同点に追いついた。

1点をめぐる攻防に興奮がエスカレートする中、勝負を決めたのはオムロン・佐久川の7mT。洪延昊がシャトレゼディフェンスの一瞬のスキについて決勝ゴールを導いたものだった。シャトレゼはGK北野の好守連発などで試合を盛り上げたが、あと1点及ばず涙のタイムアップを迎えた。



◎湧永製薬・古家◎シャトレゼ・早船

アラコが1部残留 男子入れ替え戦

男子1-2部入れ替え戦はアラコ九州(1部7位)-北陸電力(2部1位)の間で行なわれ、アラコ九州が1勝1分で1部残留を決めた。

3月19日の第1戦、北陸電力に前半2点差(12-10)と食い下がられていたアラコ九州は、後半3分過ぎから呉相民、田中を中心に多彩な攻撃を仕掛けて5点を連取、後半20分20-15と10点のリードを奪った。北陸電力もアラコ九州の連続退場をきっかけに杉山らで反撃するものの差は縮まらず、30-19でアラコ九州が1部の貫禄を示した。

この勝利で大きく優位に立ったアラコ九州は2戦目も開始早々からテンポよく攻め立て前半14-7と先行。ここまで再三のノーマークチャンスをものにできずに苦戦を続けた北陸電力は、後半に入ってディフェンスを固めるとともにGK大原からのロングスローを織り交ぜたスピード速攻がうまく得点にからみ、佐久間、桜井らの活躍で22分20-20の同点、その直後には杉山の速攻で初めてリードを奪った。しかし、前日の大勝で1部残留を決定的にしていたアラコ九州は、残り9秒から金のポストプレーで7mTを奪い、これを呉が沈めて引き分けに持ち込んだ。

2戦を通して攻撃の決定力、勝負どころでの試合運びなど、1部でもまれたアラコ九州が一日の長を示した格好だった。

3月20日(土) 男子準決勝 東京・駒沢体育館	3月20日(土) 女子準決勝 東京・駒沢体育館
大同特殊鋼 22 (11-12) 21 湧永製薬 リーグ3位 リーク2位	オムロン 21 (8-8) 20 シヤト リーグ3位 リーク2位
<3/6> K 荻田 下川 1/5 4/6 松林 東 1/4 1/2 1/1 南川 浜本 1/3 5/9 峯村 福田 0/0 0/0 市原 中山 0/0 0/0 藤井 小薮 2/5 1/1 畠中 プラス 4/6 1/3 0/0 大田 加川 0/1 K 日原 坪根 K <1/2> 0/0 渡邊 小沢 3/5 2/2 <0/1> K 高木 杉山 0/0 2/4 山本 松村 K 1/2 3/11 朴性立 古家 3/8 5/16 金性憲 山口 2/3	0/0 藤長 遠藤 K 1/3 5/9 安心院 原田 1/6 0/0 大石 桂 0/0 2/2 西本 山崎美 0/0 0/0 富田 立野 0/0 2/3 2/3 佐久川 稲吉 2/6 K 藤間 寺田 2/3 0/4 水野 橋本 2/7 0/0 巻 藤浦 3/4 0/2 金城 細谷 K <0/3> K 勝田 山崎理 0/0 2/7 洪延 早船 7/12 3/3 7/12 劉晋 中村 0/0 0/0 東濱 北野 K <3/6>
1/2 21/48 18(FPP)15 17/40 4/7 審判 (Hansson・Olsson) 観客 1399人	3/6 18/39 19(FPP)16 17/38 3/3 審判 (仲田・植村) 観客 1011人

3月21日(日) 男子決勝 東京・駒沢体育館	3月21日(日) 女子決勝 東京・駒沢体育館
ホンダ 25 (11-10) 19 大同特殊鋼 リーグ1位 リーク3位	広島メイプル レッズ 35 (18-14) 27 オムロン リーグ1位 リーク3位
<0/2> K 四方 荻田 K <1/5> 1/1 池辺 松林 3/9 0/1 羽賀 南川 0/0 0/0 佐々木 峯村 3/8 3/5 茅場 市原 1/4 3/5 斎藤 藤井 0/0 2/4 加藤 畠中 4/9 1/4 広政 大田 0/0 4/7 谷口 日原 K <1/2> 0/0 鈴木 渡邊 0/0 3/3 阿部 高木 K <0/1> K 吉井 山本 2/6 1/1 0/0 柳 朴性立 1/3 1/1 6/7 2/4 刈野 金性憲 3/10	<1/3> K 高森 藤長 0/0 0/0 土屋 安心院 3/5 3/5 1/1 0/0 木村 大石 0/1 2/4 青戸 西本 3/4 10/10 大前 富田 0/1 2/4 0/3 河本 佐久川 4/9 1/2 6/10 林五 藤間 K <0/1> 2/3 岩本 水野 4/7 1/1 0/1 坪井 巻 0/0 3/3 8/13 呉成 玉城 1/4 0/0 吉兼 勝田 K <1/6> <3/6> K 浅井 洪延 6/11 1/2 杉本 劉晋 1/4 0/0 石山 東濱 0/0
6/8 19/34 9(FPP)9 17/49 2/2 審判 (Hansson・Olsson) 観客 2941人	6/7 29/46 11(FPP)7 22/46 5/9 審判 (福島・家永) 観客 1146人

3月19日(金) 男子入れ替え戦 東京・駒沢体育館	3月20日(土) 男子入れ替え戦 東京・駒沢体育館
アラコ九州 30 (12-10) 19 北陸電力 1部7位 2部1位	アラコ九州 23 (14-7) 23 北陸電力 1部7位 2部1位
K 田中利 西田 K 0/0 材木 高橋 0/1 1/4 村上直 神田 1/12 5/8 植木 桜井 2/6 2/2 4/8 村上秀 筆吉 4/9 8/12 呉相民 高田 1/2 3/5 朴正鎮 杉山 7/11 1/1 鶴田 北村 1/4 7/12 田中慎 表 1/2 <0/2> K 谷川 安藤 K 1/1 錦戸 佐久間 0/0 0/1 石黒 大原 K K 松野 有江 K	<0/1> K 田中利 西田 K 0/0 材木 高橋 3/4 1/3 村上直 神田 2/9 2/4 植木 桜井 3/5 4/4 6/11 村上秀 筆吉 3/9 3/3 3/10 呉相民 高田 0/0 4/5 朴正鎮 杉山 4/8 0/1 0/0 鶴田 北村 0/0 3/8 田中慎 表 1/1 <0/2> K 谷川 安藤 0/1 <0/3> 0/0 錦戸 佐久間 3/5 1/5 石黒 大原 K <1/2> K 松野 有江 K
0/0 30/52 15(FPP)9 17/47 2/2 審判 (永春・安田) 観客 32人	3/3 20/46 9(FPP)9 19/42 4/5 審判 (永春・安田) 観客 184人

【個人表彰】

男子1部	最高殊勲選手賞	四方 篤 (ホンダ)	2回目
	最優秀監督賞	荒木 誠司 (ホンダ)	初
	殊勲選手賞	峯村 敦 (大同特殊鋼)	初
	得点王	呉 相民 (アラコ九州)	102点
	フィールド得点賞	金 性憲 (大同特殊鋼)	74点
	シュート率賞	松林 克明 (大同特殊鋼)	0.712 2回目
	7mスロー得点賞	呉 相民 (アラコ九州)	42点
	7mスロー阻止賞	吉井 文晴 (ホンダ)	0.435
	最優秀選手賞	坪根 敏宏 (湧永製薬)	初
	ベストセブン賞	坪根 敏宏 (湧永製薬)	4回目
		下川 真良 (湧永製薬)	3回目
		山口 修 (湧永製薬)	3回目
		広政 宜孝 (ホンダ)	3回目
		金 性憲 (大同特殊鋼)	初
		中川 善雄 (大崎電気)	3回目
		呉 相民 (アラコ九州)	初
		永島 英明 (大崎電気)	初
		湧永製薬 65点/14試合 (4.6点/試合)	
		福田 大樹 (湧永製薬)	
女子1部	最高殊勲選手賞	大前 典子 (広島メイプルズ)	初
	最優秀監督賞	林 五郎 (広島メイプルズ)	7回目
	殊勲選手賞	洪 延 昊 (オムロン)	初
	得点王	郭 惠静 (ソニーマンダラ九州)	142点
	フィールド得点賞	郭 惠静 (ソニーマンダラ九州)	115点
	シュート率賞	青戸 あかね (広島メイプルズ)	0.795
	7mスロー得点賞	早船 愛子 (シャトレゼ)	40点
	7mスロー阻止賞	高森 妙子 (広島メイプルズ)	0.4
	最優秀選手賞	呉 成玉 (広島メイプルズ)	5回目
	ベストセブン賞	飛田 季実子 (ソニーマンダラ九州)	初
		橋本 寛子 (シャトレゼ)	2回目
		青戸 あかね (広島メイプルズ)	初
		佐久川ひとみ (オムロン)	3回目
		田中美音子 (ソニーマンダラ九州)	7回目
		早船 愛子 (シャトレゼ)	初
		呉 成玉 (広島メイプルズ)	6回目
		稲吉 希穂 (シャトレゼ)	初
		シャトレゼ 62点/15試合 (4.1点/試合)	
		高橋 由香 (ソニーマンダラ九州)	
男子2部	最多得点賞	厚 沢 憲彦 (トヨタ自動車)	53点
	フィールド得点賞	佐藤 豪洋 (豊田合成)	47点
	シュート率賞	高橋 準 (北陸電力)	0.741
	7mスロー得点賞	厚 沢 憲彦 (トヨタ自動車)	13点
	7mスロー阻止賞	安藤 功規 (北陸電力)	0.556
	敢闘賞	福田 竜介 (大阪ガス)	初
		杉山 卓也 (北陸電力)	初
		神田 友和 (北陸電力)	3回目
		佐久間 俊輔 (北陸電力)	2回目
		厚 沢 憲彦 (トヨタ自動車)	2回目
		田中 勝弘 (トヨタ自動車)	2回目
		佐藤 豪洋 (豊田合成)	初
		山 浩二 (北陸電力)	初
		北陸電力 50点/9試合 (5.6点/試合)	
		高橋 準 (北陸電力)	
		レフェリー	
		家永 昌樹 (大阪) 福島 亮一 (熊本)	
		該当者なし	

ALL STAR GAME 2004

3月28日に94年以来11年ぶりの日本リーグ・オールスター戦が山口県周南市総合スポーツセンター・メインアリーナで行われる。日本リーグ機構が選考した男子16、女子14人のメンバーでチームを編成し、それぞれ東西対抗戦方式で実施する。

開催日程 3月28日

10:00 - 小中学生との交流会

13:00 - オールスター女子試合

15:00 - オールスター男子試合

16:40 - 一般交流会・ファン交流会

入場料 一般2000円(1500円)

中学1300円(1000円)

()は前売り料金、小学生以下無料

チケット問い合わせ先

周南市スポーツセンター

TEL:0834-28-8311

メンバー

女子 東軍 = 監督・堀田敬章(北国) コーチ・平塚一彦(シャトレゼ)
選手・田中麻美K、中村尚美、近藤智重、小野澤香理(以上北国) 原田恵、早船愛子、稲吉希穂、藤浦美絵、寺田美香、橋本寛子、細谷若菜K(以上シャトレゼ) 羽出重真紀、菅谷美奈、佐藤由紀恵(以上名古屋) 西軍 = 監督・林五郎(広島) コーチ・西望勝広(オムロン) 選手・浅井友可里K、呉成玉、杉本絵美、青戸あかね、岩本美穂、河本千寿子(以上広島) 金城晶子、佐久川ひとみ、大石真代、東濱裕子(以上オムロン) 山田早織、飛田季実子、郭惠静、田中美音子(以上ソニー)

男子 東軍 = 監督・冨本栄次(大同) コーチ・宇田川敏郎(東京) 選手・高木尚K、金性憲、朴性立、松林克明、山本琢央(以上大同) 中川善雄、永島英明、岩本真典、宮崎大輔、東俊介、濱口靖K(以上大崎) 野村広明、竹下浩雄、角谷裕司、林田庄司K(以上車体) 五島宏隆(東京) 西軍 = 監督・荒木誠司(ホンダ) コーチ・酒巻清治(湧永) 選手・吉井文晴K、池辺健二、齋藤泰貴、佐々木裕裕、谷口了、広政宜孝、S・クリチエンコ(以上ホンダ) R・B・ブラマニス、古家雅之、東慶一、山口修、坪根敏宏K、下川真良、小沢勝利(以上湧永) 呉相民(アラコ) 吉田耕平K(ホンダ熊本)

男子チャレンジリーグ

男子の世界選手権アジア予選(日本は2位で本大会出場を決定)が2月10-22日までカタールであり、今期の男子が2回戦制となったことから、若手層のレベルアップを狙いとして同時期に学生との交流戦「チャレンジリーグ」が企画された。最終週として3月13日(土)に行われた九州地区結果は以下の通り。

佐賀県・アラコ九州クレインアリーナ

ホンダ熊本 22(14-5, 8-10) 15 福岡 大

アラコ九州 37(18-8, 19-9) 17 東 和 大

ホンダ熊本 24(13-8, 11-10) 18 東 和 大

福岡 大 25(9-11, 16-13) 24 アラコ九州

第28回日本ハンドボールリーグ・レギュラーシーズン成績表

順位	1部男子	ホンダ		湧永製薬		大同特殊鋼		大崎電気		ホンダ熊本		トヨタ車体		アラコ九州		HC東京		試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2										
1	ホンダ	-	-	23	19	21	21	26	27	30	24	26	29	33	20	28	31	14	11	0	3	22	358	279	79
2	湧永製薬	20	18	-	-	28	18	28	28	29	25	26	28	34	23	35	29	14	10	1	3	21	369	288	81
3	大同特殊鋼	18	22	22	18	-	-	25	25	30	23	25	27	27	28	26	28	14	10	1	3	21	344	288	56
4	大崎電気	15	33	24	21	20	26	-	-	25	27	22	25	22	26	29	23	14	10	0	4	20	338	308	30
5	ホンダ熊本	18	20	24	26	22	21	21	20	-	-	27	25	27	22	29	25	14	6	0	8	12	327	340	-13
6	トヨタ車体	19	23	21	21	23	16	20	22	24	22	-	-	25	22	29	26	14	4	0	10	8	313	327	-14
7	アラコ九州	22	22	24	17	25	23	20	19	26	23	23	20	-	-	27	31	14	3	1	10	7	322	358	-36
8	HC東京	13	16	15	13	14	10	16	11	20	12	15	9	27	22	-	-	14	0	1	13	1	213	396	-183

上位3チームはプレーオフで順位を決定。2位 - 3位は、対戦間勝点による。7位は入れ替え戦に出場する(8位は2部へ自動降格)。

順位	1部女子	メイブルズ			シャトレゼ			オムロン			ソニー			北国銀行			HC名古屋			試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3											
1	広島メイブルズ	-	-	-	24	25	24	26	29	33	32	29	39	27	28	33	39	24	38	15	14	0	1	28	450	344	106
2	シャトレゼ	23	26	22	-	-	-	34	20	16	28	18	25	29	23	32	24	32	31	15	9	2	4	20	383	319	64
3	オムロン	20	20	24	19	17	17	-	-	-	27	23	27	22	20	28	36	25	26	15	10	0	5	20	351	339	12
4	ソニーセミコンダクタ九州	30	25	32	28	27	25	26	21	17	-	-	-	27	30	39	29	26	32	15	7	2	6	16	414	362	52
5	北国銀行	15	20	21	19	17	17	17	19	21	18	16	27	-	-	-	22	21	16	15	2	0	13	4	286	397	-111
6	HC名古屋	24	23	19	18	19	23	24	19	17	16	16	21	18	19	22	-	-	-	15	1	0	14	2	298	421	-123

上位3チームはプレーオフで順位を決定。2 - 3位は対戦間勝点による。

順位	2部男子	北陸電力			トヨタ自動車			大阪ガス			豊田合成			試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3								
1	北陸電力	-	-	-	30	28	33	35	19	31	34	41	37	9	9	0	0	18	288	148	140
2	トヨタ自動車	18	18	19	-	-	-	17	27	22	28	27	34	9	5	0	4	10	210	208	2
3	大阪ガス	15	17	18	20	21	16	-	-	-	32	24	32	9	3	0	6	6	195	232	-37
4	豊田合成	16	14	13	26	14	20	24	27	30	-	-	-	9	1	0	8	2	184	289	-105

1位の北陸電力は1部との入れ替え戦に出場。